

一般社団法人 埼玉私保連



# 広報

No.153



保育園の思い出（お別れ遠足）

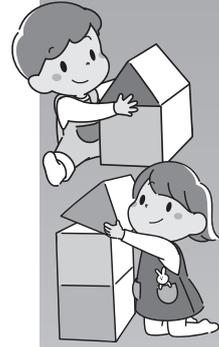
## さあ 次は小学校生活!!

Saitamaken Siritu Hoikuen Renmei

# 埼玉私保連園長研修会

テーマ

## 『育ちあいの場としての保育園・コミュニティ』



講師

鈴木

眞廣 先生

(社会福祉法人わこう村  
和光保育園園理事長・園長)

2023年2月16日(木) 13時30分～16時30分 大宮サンパレスフエアリー

コロナ禍の3年間で保育の世界も大きな打撃を受けました。

現場の緊張、マスク生活、度重なるクラス閉鎖は保育園に少なからぬ影響を与えました。影響の一番はいろんなことが分断されたことだと思います。社会、子ども、保護者、さらには職員とのあいだにも制約が増え、望まない壁みたいなのができてしまった感じさえします。追い打ちをかけるように保育園が攻撃されるような報道が相次ぎ、多くの保育関係者の心を痛めたのは周知のとおりです。

そんな傷心の園長さんらを集めて行われたのが今回の研修会です。会場はおよそ普段の保育現場とはかけ離れて洒落た静かで広い間でした。そんな環境の中で行われた熱い講演の内容を報告いたします。

研修会開催のきっかけの一つが先日報道された『不適切な保育』。では「不適切な保育」とは何かが一つのテーマとなりました。行政の事務的な対応、マスコミの少し度の過ぎた報道姿勢には違和感もありますが、保育の本質を見つめなおす良い機会と考えました。講師は子ども主体の生き生き保育を実践している鈴木眞廣先生です。

冒頭は不適切な保育とは何かから始まりました。保育において「良くない」と考えられる関わり例などが話されました(物事を強要するような関わり)。子ども一人一人の育ちや家庭環境への配慮に欠ける関わり(など)。確かにこうしたこと意識過剰になり委縮してしまうことは避けたいですが、こうした例を挙げて意識化し振り返る

ことは大事だと思いましたが、「虐待」と「しつけ」の違いについては、前者には暴力性が存在すること、結果として親(保育者)の自己満足のために行っていることなど決定的な違いに気づかれました(その他 叱るとき



に気を付けたい言葉、園児見落し等の発生防止に向けたチーム保育などについて学びました。

そして不適切な保育が生じる原因や背景に入っていくきました。原因背景には大きく二つあり、

①子どもへの適切な関わり方を理解していないといった「保育士の認識不足」②職員体制が十分でないなど「職場環境」での問題、があげられました。こうした事の対策としては、子どもの利益の尊重、定期的な保育の振り返り、自治体との相談、迅速な指導・監査等があげられます。

さらに根本的な背景として「私たちが経験してきた学び方」にもあるとのことでした。これは学校をイメージモデルとして、指導する人・指導される人といった図式になりがちであることです。子どもを下に見る否定的な「子ども観」も気を付けたいところですね。自分たちの保育を振り返り、子どもも大人もお互い信頼しあう関係の中で保育をしていきましょうとのことでした。そのためにも子どもに対し「わかるうとする」気持ちを持ち、「聴き入り対話をし続ける」とことが重要であると学びました。

前半のまとめとして、日本と他国との職場環境の違いがあげられました。フィンランドでは16時半終業で17時過ぎには家族そろっての夕食。ドイツでは1日10時間超の労働は法律で禁止などです。異次元の少子化対策を謳うのであればこのくらいの改革が必要なのではとのことでした。

後半は和光保育園の保育実践の様子が映し出されました。それは子どもも大人も職員もお互いが認め合い、支えあいながら生活し、みんなで創り出していく「暮らしの文化」としての保育です。近代化・合理化の波の



中で保育や子育て支援も「サービス」という「利便性」で語られるようになってきました。一方で「孤立社会」「孤立の子育て」も問題になっていきます。わこう村にあるのは特殊な保育ではなく、そこにいるだれもが無理をせず、できることに取り組む、居場所・出番のある保育です。お互いに認め合い・補いあい、人と人をつないでいく関係づくりの保育が今何よりも必要であることが強調されました。わこう村という共同体の中で、子どもたちは学び、保護者、地域を巻き込みながら紡がれる、わこう村の「子コミュニティ」は参加者の心をとらえました。

最後の質疑応答では、子どもの育ちや成長の喜びを語り、一緒に考えあえる職員間の関係づくり、虐待についても時間を作ってみんなで話し合える場つくりなどが必要であると話されました。

会長・副会長の挨拶にもありましたが、人と人がつながりあっていく「子コミュニティ」、これが今必要な保育である、そう思わせてくれた研修会でした。

(広報部)



# 【 春 の 小 川 】

作詞：高野 辰之

作曲：岡野 貞一

♩=104

は — る の お が わ は さ ら さ ら い く よ  
 は — る の お が わ は さ ら さ ら い く よ

き — し の す み れ や れ ん げ の は な に  
 え — び や す め だ か や こ ぶ な の む なれ に

す — が た やい さし く い る う つ く し く  
 きよ — がう も やい さし く ひ な う た で お よ き

さ — い て い る ね と さ さ や き な が ら  
 あ — そ て あ そ べ と さ さ や き な が ら

# ♪ 子 ど も と う た お う ♪

♪ 歌詞のポイント  
 日本の自然豊かな春の風景が美しく表現されています。豊かな色彩が目には浮かびますね。歌詞のまとまりは、すべて7文字（例・はるのおがわは）で成り立っています。

春になり色とりどりの花が咲き始め、辺りの景色も華やいできましたね。今回は【春の小川】を取り上げました。この曲を作詞した高野辰之さん、作曲した岡野貞一さんのお二人は、日本でもよく知られている唱歌を他にも作っています。お二人が一緒に作られた曲は【春が来た】【朧月夜】【紅葉】【故郷】です。いずれも日本の四季を彩り豊かに表現した歌詞で、とても歌いやすいメロディーです。これらの曲はこれからも歌い継いでいきたい曲ですね。

また、「はるのおがわは」の△わ▽と△は▽の部分は、発音では両方とも△Wa（わ）▽になります。「おがわは」の△は▽は助詞になるので、△わ▽より軽く発音する必要があります。美しい日本語を子どもたちにも伝えるためにも、使い分けて発音してください。

特に歌う時はどちらも同じドの音なので、△は▽の方が強くないように意識すると良いです。

## リズムのポイント

この曲はすべて4分音符で書かれています。リズムが一定なので、子どもたちにとって歌いやすい曲ですね。一定のリズムによって、水がよどみなく穏やかに流れる様子を表しています。川幅が狭くちよろちよろした流れならもっと細かい音符になるなど、川の状況によって使う音符は変わったりします。

また各フレーズの最後に4分休符が表れます。この休符は、小川のほとりを歩きながらふと立ち止まって周りの景色を眺めているようです。すみれやれんげの花、えびやめだかやこぶなを見つけた喜びがそこにはあるような気がします。岸辺に咲く花も川の中にいる魚も、それを愛でる人も、春を楽しむ様子が感じ取れますね。

## メロディーのポイント

楽譜は4つのフレーズでできています。1〜4までのフレーズの中で、曲の山

は第3フレーズにあります。

3小節目にかけて徐々に音が上がって、1番の「色美しく」2番の「日向で泳ぎ」の部分で一番盛り上がります。美しく花が咲いている様子や、太陽を浴びて気持ちよく泳ぐ様子を想像してみましよう。自然に心と体が広がるようになっておもいます。

## 表現の工夫

### ○効果音

△小川のせせらぎ▽などの水の流れる音を歌う前に聞かせるのも効果的だと思います。その音を前奏として使ってみるのも良いでしょう。臨場感があり、曲のイメージもしやすくなります。

### ○お絵描き

初めて教える時に、ゆっくり歌いながら絵を描いてみるのも面白い試みだと思います。△小川・すみれ・れんげ・えび・めだか・こぶな▽

などが次々に白い紙に現れて、曲が進むごとに春の景色ができてくるのも楽しいですね。みんなで色塗りをすれば、春の絵のできあがり。

### ○身体表現

川の流れを手で表現する（横に滑らかに動かす）、すみれやれんげの花を見つめる、えびやめだかやこぶなが泳ぐのをのぞく、そのような仕草を取り入れても良いですね。

## 伴奏のポイント

この曲は4分の4拍子で、1拍ごとに曲が進みます。ここで気を付けたいのは、一音一音が独立しすぎて流れがなくなってしまうことです。なめらかに音をつなげて、横の流れを大切にしてください。音符は4分音符ですべて同じ形で表されていますが、歌詞には助詞を強くしないなどの配慮があります。ぜひ伴奏の楽器でもそのことを意識しまし

よう。そうすることで音楽に濃淡が生まれ、その心配りが豊かな人間性を育むことに繋がっていくと思います。

## 筆者プロフィール 佐藤ユカリ

武蔵野音楽大学声楽学科卒業。オペラ「ラ・ファヴオリータ」「修道女アンジェリカ」「魔笛」に出演。東京板橋の声楽団体「グルッポミノリート」に所属し、コンサート活動を行う。深谷カルチャー教室声楽講師。深谷市音楽連絡協議会会員。元・中学校音楽教師。



# 卒園式風景

（園長先生たちから  
卒園するみなさんへ）

新しい世界へ羽ばたく皆さんへ

三月に入り思いのほか暖かい日が続き、桜が卒園の日を祝うように咲き始めています。

皆さん、保育園で過ごした日々、どんな思い出ができたのでしょうか。

保育園で過ごした年月の半分以上がコロナ禍という、これまで全世界の人たちが経験したことのない日々。私たち大人は、初めてのことに右往左往し、見えない恐れに震えていました。でも、あなたたちは大人の話を聞き、淡々と日々を過ごし、その中で、遊びを見つけ、友だちと楽しむことを忘れませんでした。

どんな時も慌てず変わらさず日常を過ごすこと、楽しみを見つけて笑顔でいることを大人に教えてくれたのはあなたたちなのです。

「あなたたちが居たからこそ、頑張れました。ありがとう。」と、感謝の気持ちを伝えたいと思います。

そして、新しい世界へ羽ばたく皆さんへ贈る言葉として、

- 一. あきらめずに頑張る
- 二. 挨拶は仲良くなる魔法の言葉
- 三. とびっきりの笑顔

これを贈ります。

あなたたちなら、どんなことでもできます。きっと、大丈夫。保育園から、応援しています。嬉しいことがあった時、悲しいことがあった時、保育園のことを思い出してみてください。そして、時間があつたら、遊びに来てくれると嬉しいです。大きく成長したあなたたちと会える日を楽しみに待っています。



## 月「一年生になったら」♪に思う

卒園式にもしかしてこの「一年生になったら」を歌った園もあるかもしれません（わたくしの園では毎年歌います）。

歌詞は、これから迎える小学校生活に希望を膨らませ、たぐさんの友達と富士山でおにぎりを食べたり、大笑いしたりと、たのしいこといっぱい、夢いっぱいの内容です。

ところで、この歌を作ったま

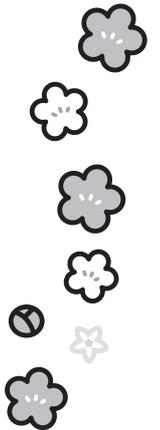
どみちおさんをご存知ですか。名前は知らずとも、作った歌を聞けば「ああ」と納得するかも知れません。「ぞうさん」「やぎさんゆうびん」「ふしぎなポケット」などたくさんあります。

わたくしを取り上げたいのは歌よりもこの人が生きた年齢です。この人なんと一〇四歳までご存命でした。一〇四歳です。一〇四歳の人の前ではわたくしなんか赤ちゃんみたいなものです（もうちょっとといってるかな？）。

親孝行とは何か、という話になるときがあります。親孝行とは間違いなく、長生きすることです。みなさんがこの先、自分よりずっと長く、健康で幸せな人生を歩んで行ってくれることをおうちの方は願っているはずです。



どうぞそんなかたたちに見守られながらいつまでも元気で幸せな人生を歩んでください。私達職員も応援しています。お元気で。



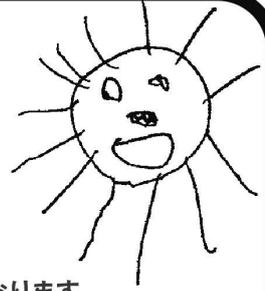
卒園する皆さんに「お祝いの言葉」を贈ります。これは有名な科学者であるアルベルト・アインシュタインという人の「天才とは努力する凡才のことである。」という言葉です。天才とはとても頭の良い人の事、凡才とは普通の人の事です。そして努力とは頑張ることです。つまり天才と呼ばれる人とは、実は頑張っている普通の人の事なのだということ。これは「努力に勝る天才はなし」とも言います。皆さんもいろいろなことを頑張り続けられ、いつか、天才と呼ばれることができるでしょう。それは挨拶の天才でもいいし、遊びの天才でもかまいません。何事にも頑張り続けられれば皆さんは天才になります。

卒園児へのメッセージ

事務局  
 (一社)埼玉県私立保育園連盟  
 〒363-0015 桶川市南2-7-13  
 桶川中央マンション2F  
 TEL 048(772)8623  
 FAX 048(772)8635



# 園および園児をさまざまな リスクからサポートします



園経営には、さまざまなリスクが伴います。

公益社団法人全国私立保育園連盟指定代理店である(有)ゼンポでは、

園経営はもちろんのこと、園児をとりまくリスクに関する各種保険を取り扱っております。

## ほいくのほけん

「園賠償責任保険」

「園児団体傷害保険(学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険)」

「特別保育事業賠償責任保険」など、

園経営におけるリスクに関する保険をラインナップ

しています。また、それらを総合的に補償する

セットプランもご用意しております。

## やくいんのほけん

社会福祉法人の役員の業務遂行に関する賠償リスクを補償します。



上記以外にも、「学童保育」などの、保険を取り扱っております。ご照会は、下記連絡先にどうぞ。

このご案内は施設賠償責任保険・生産物賠償責任保険・学校契約団体傷害保険特約付帯傷害保険・会社役員賠償責任保険の概要についてご紹介したものです。保険の内容は本保険制度のパンフレットをご覧ください。詳細は契約者である公益社団法人全国私立保育園連盟にお渡しする保険約款によりますが、ご不明点がありましたら、取扱代理店または保険会社までお問い合わせください。また、ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。

(引受保険会社) 東京海上日動火災保険株式会社 担当課:公務第二部 文教公務室 TEL:03-3515-4134

連絡先



公益社団法人全国私立保育園連盟指定 / 東京海上日動火災保険株式会社代理店

**有限会社ゼンポ**

TEL **03-3865-3881**

FAX 03-3865-2806

〒111-0051 東京都台東区蔵前4-11-10 全国保育会館4階

子どもの育ちが見えれば、明日の保育がもっと豊かに!

全国私立保育園連盟推奨(総代理店)

導入費用  
無料

# きっずノート

「きっずノート」は、文字だけでは伝えきれない園での豊かな活動、子どもたちが自ら学び・育つ姿を「見える化」するアプリです。

保育者の  
業務  
省力化

子どもの  
学び・育ちの  
見える化

緊急時の  
連絡手段

正式利用お申込みの全施設

最大9ヵ月

**利用料無料!**

契約更新後も料金そのまま!

年間一括利用料6万円

利用しやすい価格に  
なりました!

ひと月  
あたり **5,000円** (税別)

※ただし、事業者利用規約の定めにより、将来において利用料金に変更になる可能性があります。

詳しくはお問い合わせください。

<担当者:菅沼、太田>